



ウクライナ避難民支援リポート vol.3

ミラノ賛美教会 牧師 内村伸之



いつもミラノ宣教を祈りとご支援によって共に担ってくださっている主にある家族の皆様、主の御名を賛美します。

2022年の7月13日(水)から、オデーサの船越宣教師ご夫妻と共にウクライナ入りし、7月22日(金)に無事にミラノに戻ってきました。



携行缶へのガソリン給油



破壊されたガソリンスタンド

ウクライナ国内では、ロシア軍が製油所やガソリンスタンドなどを攻撃し、ガソリンの供給が不安定になっています。ですから、ウクライナ入国前に隣国のハンガリーでガソリンを調達します。

7月13日(水)にウクライナ西部の国境を越え、ベレフォベという町で、バプテスト教会のバレンティン牧師と教会のメンバー達と再会し、礼拝にて船越宣教師に通訳をして頂きながらメッセージを伝えました。三ヶ月ぶりの再訪でしたが、人々が御言葉を待ち望んでいる姿に感動を覚えました。そして翌日から、船越宣教師ご夫妻の導きのもと、ウクライナの首都キーウから北西約60キロのボロディアンカという町を訪れました。人口13,000人の、のどかな、民間人しかいない町です。



破壊されたボロディアンカ



ベレフォベ・バプテスト教会での礼拝



バレンティン牧師との再会

ロシア軍はこの町の住民が全員家にいる夜中に、クラスター爆弾等を使って建物を破壊し炎上させました。多くの住民が瓦礫の下敷きになって亡くなりました。軍事施設などはありませんから、撤退する際に、悔し紛れに、民間人に対してありったけの銃弾や、爆弾を使い切った快樂殺人であったと言われています。

「私たちがここで生きていたことを覚えていて。」
という瓦礫に残されたメッセージが脳裏に焼き付いています。

またイルピンという町を訪れたときには、その悲惨さを表現する言葉が見つかりませんでした。破壊された集合住宅、カフェ、車、家族の風景、人の心。



破壊されたイルピンのカフェ

破壊は一瞬でも、復興にはどれほどの時間がかかるでしょうか。おそらく途方もない年月がかかるでしょう。その頃には世界はウクライナのことを忘れてしまうかもしれない。住居を失った人々の多くは国外などに避難していますが、家の近くの仮設住宅に住んでいる方々も多くいます。そういう人々は、毎日壊された自分の家を見に行くことが日課になっています。これから、建物やインフラだけでなく、壊された人の心の復興にはどのように関わるべきなのだろうかと考えさせられました。



イルピンの廃墟と、家を失った人々

また、ロシア軍が占拠していたブチャという町も訪れました。

この町では少なくとも400人以上の民間人の虐殺された遺体が発見されています。

そして、ロシア軍が撤退して3ヶ月以上経った今でも、人が焼かれた焦げた匂いが残っています。直前まで子供たちが遊んでいた庭のブランコや、夕食の準備中だったキッチンのオーブンが焼け落ちて時を止めていました。私には、人間が何故そこまで残虐になれるのか解りません。

そして7月15日にオデーサ入りをしました。その夜は空襲警報が鳴り、泊まっていたホテルから遠くない倉庫にロシアからの砲撃があり、倉庫が炎上しました。



爆撃されたオデーサの倉庫

焼け落ちたブチャの民家



祈りをもって出陣するオデーサ教会のチーム



翌朝5時に起きて、ロシア兵が進軍しているミコライウ州の村に行って、教会のメンバー達と避難民支援のために出かけました。

オデーサから車で2時間半のところにある村に着くと、雷が轟いているかのように、砲撃音が聞こえます。激戦区から逃げて来た避難民達は、既に家主が逃げた空家になった家に避難しに来ています。この村の人々は、せつに援助物資を必要としています。オデーサの教会のメンバー達は、前日から400世帯分の生活必需品パックを備えます。備えるのはそれだけではありません。心が傷ついている子供たちへのおもちゃや絵本、ぬいぐるみ、そういったものを携えて、家々を訪ねます。そこで、彼らは物資と共に、神の愛を伝えます。そして、多くの人々が聖書を求めているので、聖書をプレゼントします。



子供たちへの玩具配布



物資を備える教会メンバー達



物資を待つ母子



聖書を求める避難民達



オデーサでの礼拝説教（船越宣教師と共に）

人々は本当に真剣に御言葉を求め、涙を流していました。砲撃の危険があっても、人々が互いに愛し合うこと、そして祈り、賛美を捧げることを誰も止めることはできないということを垣間見ました。このウクライナの教会を、これからも支援をしていくよう導かれ、確信が与えられています。共に祈り、支援に加わって頂ければ幸いです。

皆様の上に、主の豊かな祝福がありますように。



オデーサでの礼拝

7月17日(日)はオデーサの教会で礼拝を捧げました。戦禍の中で捧げられる礼拝は、驚くほど神の臨在を感じました。

ミラノ賛美教会の今

メッセージ動画や賛美を、ミラノ賛美教会のYouTube アカウントに更新していますので、ぜひご覧ください。

ミラノ賛美教会YouTube:
<https://www.youtube.com/channel/UCZN8JJA-2FuzH6RxxX0GJEIQ>

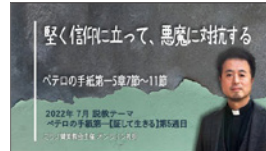
ミラノ賛美教会facebook:
<https://www.facebook.com/milanosanbi>



～日本人宣教師が見たウクライナの人々～
 SLIM(一般社団法人サーバント・リーダーズ・ミニストリー)主催で、ウクライナ避難民の現状や今後の支援のあり方などについてライブ配信にてレポートしています。

録画配信あり。

配信及び支援についてはSLIM WEBサイトより↓
<https://www.slimconference.org/ukraine>



内村伸之牧師のウクライナ支援の報告を交えてのオンライン礼拝メッセージ



Mariko's Voice

戦禍の中で見たこと

ミラノ賛美教会 内村まり子

いつもお祈りとご支援を心から感謝申し上げます。皆様の厚いサポートに支えられ、励まされています。日々、世界でたくさんの事象が起こる中で、皆さまと共に主に繋がり、御心を祈り、生かされていることを心から感謝いたします。

ウクライナ、オデーサの地に遣わされている船越宣教師ご夫妻との出会いが与えられ、

戦禍ウクライナの地で私が感じたことは3つのことでした。

- ① 悪と人間の罪(戦争の悲惨と脅威、狂気、痛み)
- ② 神の愛と教会の働き(助け合いと支援)
- ③ そして自分はどうか生きるか(主への応答と日々の決断)

ロシアに攻撃、占拠された所は悲惨です。闇の力、悪の狂気と人間の罪により破壊された土地、人々の傷と痛みの深さは計り知れません。しかし、その痛みと傷の中で助け合う心と支援をする

教会の働きを目にして、神の愛がここにあることに感動しました。オデーサの教会では、オデーサの街自体が緊急事態の中、前線に近い地区に住むことしかできない人々を訪問し、食料、衣料、子供のおもちゃ、聖書とトラクトを配布し、そして福音を語り続けています。地の塩、世の光として生きる人々、教会を見ました。オデーサの教会の礼拝には、主を求め、賛美を献げ、みことばに耳を澄ませる人々が集まっていました。現地で教えていただいた「ウクライナのための祈り」の歌をハープで奏すると、神様は集う人々の口に賛美を授け、神の愛と慈しみが満ち、人々の心にみことばが語られ励まされ、人々が主の力を得て、世に再び遣わされていくのを見ました。

戦争の中で、恐怖、不安を抱えるギリギリの状況下、人々が主を仰ぎ、より頼み、御心を求めています。主は生きておられ、救いと癒しを、私たち信仰者を用いて、なしてくださります。皆さまと共に祈り、主の僕としてお仕えさせて頂くことを願っております。

“主はその御目をもって全地を隅々まで見渡し、その心がご自分と全く一つになっている人々に御力を現してくださるのです。”

歴代誌II 16章9節

祈りの課題

- * 内村牧師夫妻の滞在許可証の更新のため
- * 霊肉が健やかでありますように
- * 教会に新しく来られている方達のフォローのため
- * 教会に集っている子供達に信仰が与えられますように
- * 世界の自然災害・コロナ禍の癒しと回復のため
- * ウクライナのロシア侵攻が1日も早く終わるように

ミラノを中心に、欧州邦人伝道に仕える内村牧師夫妻の働きを知って頂き、お祈りで支えて頂きたく「ミラノの風」をお届けしています。その際振込用紙を同封することがありますが、『払込取扱票』を同封して欲しい』との要望に応えるもので、決して献金を強要するものではありません。どうぞご理解のほど、よろしくお願いいたします。

ミラノ日本語宣教 内村伸之・まり子さんを支える会

日本事務局(宣教支援部)

〒164-0002 東京都中野区上高田 4-46-9 シオンの群教会内
 Tel&Fax: 03-3386-5156 E-mail: mission.milano.jp@gmail.com
 郵便振替: 00130-4-480962 「内村伸之・まり子さんを支える会」
 銀行振込: 三菱UFJ 銀行 神楽坂支店 (普)0889270
 「ミラノ宣教内村夫妻を支える会」

イタリア事務局 (ミラノ賛美教会)口座

口座名義人: NOBUYUKI UCHIMURA
 銀行名: INTESA SANPAOLO 口座番号: 61202685329
 銀行住所: Corso XXII Marzo 29, 20129 MILANO (MI)
 IBAN: IT54A0306909459612002685329
 BIC / SWIFT: BCITITMM

献金下さる際は下記メールアドレス宛にご一報頂ければ幸いです。
 教会会計メールアドレスfinance.sanbikyokai@gmail.com